

令和7年度 【出石精和園第3成人寮】 地域連携推進会議 議事録

事業所名：出石精和園第3成人寮

開催日時：令和7年11月6日（木）12時～14時15分

開催場所：出石精和園第2・3成人寮 ボランティア室

出席者：利用者代表1名、利用者家族代表1名、近隣区長

特別支援学校職員1名、社会福祉課職員1名

施設職員3名

会議次第

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 出席者紹介
- 4 食事風景見学・食事体験
- 5 施設概要説明
- 6 サービス内容説明
- 7 経営状況について
- 8 BCP（業務継続計画）について
- 9 虐待事案・事故・ひやりハットについて
- 10 施設見学

意見交換内容

サービス内容等への質疑応答

Q：様々な活動を行っているが、何人かのグループでのサークル活動はあるのか。

（質問者：市職員）

A：西棟では、オセロを共通の趣味として行っている方がいる。東棟においては、障害特性上や希望にて、個人での活動がメインとなっている。

Q：利用者の状況において、但馬地域以外にも入所者がいるようだが、入所希望があるのか。（質問者：区長）

A：兵庫県下の市区町村や京都府や東京都など様々な地域において、施設を探して

おられる方からの問い合わせや入所申し込みはある。

Q：児童寮の頃は、地区のまつりや運動会に参加していた。高齢化もあり参加しにくいとは思いますが、参加してみてはどうか。地域とのつながりの面は重要なので。

（質問者：区長）

A：そう言っていただけると嬉しいです。日程等教えていただき、積極的に参加したいと思います。コロナ禍以降園祭の開催ができていなかったが、来年度事業団設立60周年であり、地域の方達にも参加していただける園祭開催を計画しています。

Q：支援場面を見て、大変そうだと感じた。職員数は足りているのか。(宮内区長)
A：法定基準上は足りている。しかし、退職者等が出た際に新たな職員がなかなか来

ない状況は続いている。

Q：第2成人寮、第3成人寮の違いとはなんでしょうか。(質問者：支援学校職員)

A：第2成人寮は、高齢障害者に特化した寮です。ゆったりその人らしく暮らしてもらっています。第3成人寮については、令和3年に児童寮から転換した寮です。その為、年齢の幅の大きく、障害特性も幅広いです。

経営状況についての質疑応答

Q：事業団は県下に様々な施設があり、高齢者施設もある。職員は異職種に異動することはあるのか。また、遠方(但馬外)に異動することはあるのか。(質問者：市職員)

A：高齢者の多い第2成人寮といった部署には高齢者施設経験者のスキルが生かされる場面は多いです。こういったこともあり、異職種からの異動はあります。遠方へ異動は希望があればある。また、勤務に関する希望調査を行い、事務局(人事管理課)において配慮される仕組みとなっています。

BCPについての質疑応答

Q：避難場所になっているのか。(質問者：区長)

A：地震のときの避難場所に指定されている。それ以外の災害時でも行政からの指示があれば開放する。

Q：土砂災害マップに入っているのか。(質問者：市職員)

A：入っている。しかし、斜面と施設の間にグラウンドがあるので直接的な被害は少ないと考察している。

Q：感染症によるクラスター防止のために日頃から対策はしているのか。(質問者：区長)

A：職員が保菌等している場合を仮定し、少しの体調変化(咳や頭痛、微熱など)があれば、出勤前に連絡するよう周知している。併せて、勤務中の体調変化があればすぐに報告するよう周知している。

虐待事案・事故・ひやりハットについて

Q：虐待セルフチェックリストについて、他事業所へ園の取り組みを話しても良いか。

（質問者：市職員）

A：個人情報特定されないチェックリストの原本などは正式な依頼文等あれば、提供することは可能